

ふるさと講座・自然系第1回目 「シギ・チドリ観察会」を 実施しました！

5月8日（日）参加者7名で実施しました。講師は、NPO法人野付・エコ・ネットワーク代表の藤井薫氏です。

ネイチャーセンターで講師よりレクチャーを受けました。現在、野付半島で見られる「シギ・チドリ」は、オーストラリア・ニュージーランド・南極南側からアラスカ・カムチャツカ・ベーリング海峡などの繁殖地に向かう途中のものです。野付半島は、最後の休憩場所で、5月上旬が渡りのピークであり多い時は2,500～3,000羽程見られるそうです。レクチャーの後、車にて移動し先端部まで、降車しながらの観察となりました。

観察出来たシギ・チドリは、9種類（トウネン・キアシシギ・キョウジョシギアオアシシギ・ダイゼン・タカブシギ・ハマシギ・メダイチドリ・シロチドリ）と風が強めではありましたが、車内外からでも間近で見ることが出来ることや講師の詳しい解説を聞きながらの観察会に参加者は満足していました。



ふるさと講座・歴史系第2回目 「別海町歴史文化遺産を巡る（戦争遺産編）」 のお知らせ！

別海町には、多くの地区がありそれぞれに大切な歴史や文化・自然があります。教育委員会では、文化財のような学術上の価値や希少性が高くなくても、地域の思い出や由来があるものを重視し、みんなのたからもの「別海町歴史文化遺産」を認定してきました。

今回の講座では、現在認定されている16の遺産の中から戦争遺産の4つを対象とした講座を行いますので、ぜひ、ご参加ください。



○日 時 令和4年7月10日（日）午前9時～12時

○場 所 西春別・別海地区（集合：郷土資料館）

○日 程 9：00～9：30 お話「別海町歴史文化遺産について」

9：30～12：00 別海町歴史文化遺産見学・解説

「旧柏野尋常小学校奉安殿」「旧陸軍計根別第一飛行場1号有蓋掩体」

「在日米軍偵察爆撃機RB29プロペラブレード」「旧国鉄標津線床丹3の川鉄橋米軍機空襲跡」など

○講 師 郷土資料館 文化財担当 主幹 戸田 博史

○定 員 8名 6月1日（水）から受付開始。

電話かメールにて「お名前・電話番号」を連絡ください。

「加賀家文書等資料」

「蝦夷物語」から見る「義経伝承」について～その2

道内での「義経伝承」は、神社・景勝地（岩）などに残されています。当館で所蔵する『加賀家文書等資料』では、「蝦夷物語」「蝦夷風俗図絵蝦夷語解説②」となります。はじめに「蝦夷物語」を紹介します。

話を要約すると「メナシ（目梨）釧路領のアイヌが、義経に自分たちの領土に東の島々から来たアイヌがいるので、追い出してほしいと鮭を持参してお願いに来たようです。義経と弁慶はメナシに向かい、東の島々のアイヌを成敗します。その後、メナシアイヌと満州に渡り、戦いに勝ち宝物を得て蝦夷島に戻ってきます。」という内容になります。



資料は、代表的なページを選んで載せています。決して上手な絵ではありませんが、彩色され情景が細かく描かれています。

次号は、「蝦夷風俗図絵蝦夷語解説②」を紹介します。

【引用文献】2011年「アイヌ語別海地方方言資料集成～蝦夷風俗図絵蝦夷語解説2現代語訳～ 付録・歴史編 アイヌの義経伝承 平山裕人」

別海町郷土資料館だより No.275

発行日 令和4年6月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町 30 番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記 コロナによりここ2年あまりのこの時期は、入館者は少ない状況でしたが、規制もない今年は、ゴールデンウィーク明けから、道外の方の入館が多くなってきました。今後は、ウィズコロナという状態が続くのでしょうか。ここ2年間停滞している調査事項も徐々に解決していければいいと考えます。